



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674
2008年10月5日 No.635

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



商店街
装飾灯

電気代の補助増額を

共産党提案に区は「総合的に支援」



防犯の役割も担う商店街の装飾灯。写真は戸越公園前南口商店街

いま、商店街を明るく照らす装飾灯の電気代が商店街の大きな負担になっています。私(みやざき)は商店街の要望を受け、9月25日の区議会本会議で電気代の補助引き上げを求めました。区は商店街への支援を総合的な観点ですすめると答弁しました。

商店街は、長引く不況に加え燃油高・物価高が追い討ち。電気代が値上げされると装飾灯の継続が困難になる商店街も出てくると心配されています。

二葉町のA商店街は年間支出のうち50%が装飾灯の電気代。西品川のB商店街は支出の40%が電気代です。また、電気代に占める補助金の割合は全体として30%程度ですが、15本の装飾灯をもつ五反田のC商店街の電気代は年約40万円で助成率は19.5%。中延のD商店街は17%程度など低くなっています。

品川区商店街連合会は、商店街が装飾灯の設置・改修費用の3割、電気代などランニングコストの7割を負担している」と補助増額を求めています。

街灯 商店街 防犯でも大きな役割

江戸川区は全額を補助

商店街の装飾灯は賑わいをつくるだけでなく、夜間の常夜灯の役割を果たしています。装飾灯の電気代を行政が支援するのは当然です。しかし、23区を比較すると品川区は積極的に支援しているとはいえません。

品川区の装飾灯電気代補助は「額持つ」とのべています。

1本あたり年5千600円ですが、中央区は1万5千円、大田区は8千300円です。

また、装飾灯電気代に占める補助金の割合(補助率)でみると品川は平均でおよそ3割ですが、練馬区は3分の2、足立区と江東区、荒川区は4分の3。江戸川区は電気代を全額補助しています。昭和60年度から全額補助している江戸川区は「商店街の環境整備、安全・安心にもつながる。管理を商店街にお願いしている代わりに電気料は区で全

商店街の装飾灯は

防犯や安全性の向上に大きく寄与しています。ある商店会長は「ここではひったくりも発生していない」とのべています。

品川区は長期計画案で商店街を「地域コミュニティの核」と位置づけていますが、それにふさわしい支援が必要です。

主な自治体の 08年9月調査 商店街装飾灯の補助

<定額による補助>

品川区	1本あたり年5,600円
中央区	①15,000円か②3分の1 いずれか高い額
港区	1本あたり13,000円
江東区	①7,200円か②4分の3 いずれか少ない額
目黒区	1本あたり年5,680円
大田区	1本あたり年8,300円
渋谷区	片アーチ1基あたり年3万円 アーケード50万円

<定率による補助>

文京区	2分の1
墨田区	2分の1
豊島区	50%
荒川区	4分の3
練馬区	3分の2
足立区	4分の3
江戸川区	全額



私(みやざき)は本会議の質問で、①装飾灯の電気代の補助については、全ての商店街で50%以上となるように早急に引き上げることを。②消費電力が少ないLED(発光ダイオード)への交換、ソーラー・ハイブリッド型などへの切り替えを支援することなどを求めました。区は商店街の活性化支援について「装飾灯に限らず総合的な観点から

取り組んでまいりたい」と答弁しました。

商店街は住民が生活していくために欠かせません。日本共産党区議団は、装飾灯電気代補助引き上げをはじめ、商店街の支援強化に引き続き取り組んでいきます。

無料
法律相談
10月24日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所